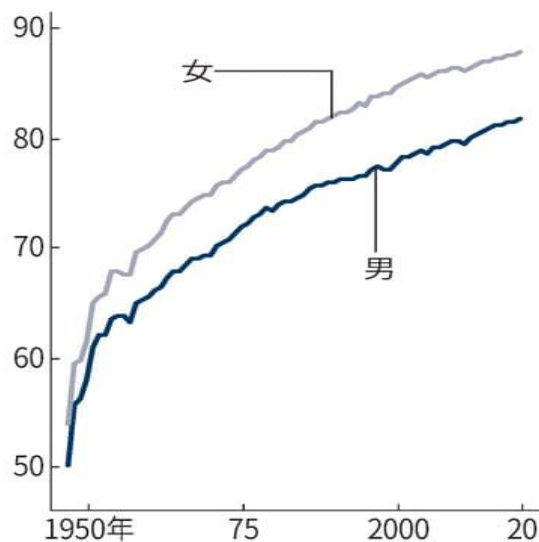


2020年の平均寿命、男女とも最高に 厚労省まとめ

日経新聞 2021年7月30日 19:15 [有料会員限定]

厚生労働省が30日に発表した簡易生命表によると、**2020年の日本人の平均寿命は男性が81.64歳、女性が87.74歳となり、ともに過去最高を更新した。**過去最高の更新は男性が9年、女性が8年連続。女性は世界1位、男性は世界2位だった((注)香港を除く)。

平均寿命は戦後大きく延びた



20年の平均寿命は19年に比べると**男性が0.22歳、女性は0.30歳**延びた。

同省の担当者は「肺炎による死亡者数の減少などが平均寿命の延びにつながった」という。

新型コロナウイルスの影響で男性は0.03歳、女性は0.02歳、平均寿命が短くなった。厚労省は日本では比較的「影響としては小さかった」との認識を示した。

平均寿命は死亡状況が今後変化しないと仮定し、その年の0歳児が平均で何歳まで生きられるかを予測した数値。日本にいる日本人を対象にしている。将来の社会保障や経済政策の方向を決める指標となる。

世界の平均寿命の順位をみると、**男性は1位がスイス(81.9歳)**だった。2位の日本に続き、3位はシンガポール(81.5歳)だった。女性は1位が日本、2位が韓国(86.3歳)、3位がシンガポール(86.1歳)だった。

世界のランキングは20年分から「地域」を除いて「国」のみとする方針とした。そのため、19年に男女ともに1位だった香港は対象外となった。香港を除くと日本の女性は1985年から2020年まで36年連続で1位となる。20年の香港の平均寿命は男性が82.71歳、女性が88.14歳だった。